IRON WILL｜鉄の意志

平成 30 年 12 月 3 日
第二中学校　学習通信　#29
学力担当

素振りだけでは試合に勝てぬ

ラケットスポーツには素振りは必要です。基礎・基本をつくる上で絶対になくてはならないものです。徹底してくりかえさなくてはなりません。

各教科の学習においても「素振り」に相当するものがあります。英語で言えば、本文の音読、単語の書き取りが素振りに相当します。みなさんは各教科の素振りに相当する学習を徹底してやっていますか。ここに課題がある人は徹底して素振りに相当する学習をしましょう。ところが、これだけでは十分とは言えません。

英単語の基礎的な問題と活用問題をあげてみます。

基礎と活用

基礎的な問題



① 次の日本語を英語で書きなさい。
　教科（　　）

活用問題

② 空欄にあてはまる英語を書きなさい。
　Mike : What（　　）do you like?
　Yumi : I like math very much.　I often study it.

答えはどちらも”subject”です。できましたか。①ができない人は、素振りが足りず、①はできて②ができない人は練習試合が足りないということになります。今週行われる熊本県学力調査（１、２年生）や入学試験は①のような単純な問題はほとんど出題されません。”subject”という英語が使えているかが問われるわけです。

皆さんの学習の様子をうかがうと漢字や単語の書き取りだけで問題解きが少ない人がいます。答えを見て、「何だ、それなら知ってた。」という経験が多い人は、学習の素振りはできているが、練習試合が不足しているということです。

学習においても素振りで身に付けた技を使う場、練習試合が必要です。素振りをしっかりしたら、各教科授業で使っている問題集、先生方からもらっているプリント等を使い、繰り返し練習試合をしましょう。その上で、基礎・基本に課題があれば、素振りにもどりましょう。

素振りと練習試合のバランスを